

愛知県立芸術大学 国際交流事業 完了報告書

2026年 3月 6日

社会連携センター長 殿

所属学部・専攻

音楽学部 ピアノコース

申請者 職名・氏名

教授 中尾 純

国際交流事業を次のとおり実施しましたので報告します。

事業名	協定校ハンブルク音楽演劇大学との国際交流				
実施期間	2026年2月9日から2026年2月23日				
交流機関名 (大学名等)	ハンブルク音楽演劇大学(ドイツ連邦共和国)				
交流機関における協力者	ヤン・フィリップ・シュプリック教授(学長)、フランク・ベーメ教授(第12部門学部長)、フベルト・ルトコフスキ教授(ピアノ科長)、オラフ・キルシュ氏(ハンブルク美術工芸博物館キュレーター)、ドロテー・フォン・モロー教授(音楽療法)、カリン・ホルツヴァルト教授(音楽療法)、ダーフィット・バース教授(医師、リゲティ・センター「音楽と健康」研究プロジェクト代表)、エフゲニー・コロリョフ教授(ピアノ科名誉教授)、ゲオルク・ハイドウ教授(作曲、リゲティ・センター所長)、カロリーネ・ヴァイヒャート教授、アレクサンダル・マジャール教授、ステパン・シモーニヤン教授、アンナ・ヴィニツカヤ教授、マリヤ・ヤンコヴァ氏(以上ピアノ科教員)				
事業の概要	本学と長年学術交流協定を結んでいるハンブルク音楽演劇大学は、学生数約1400名を擁し、これまでエリザベート王妃国際コンクール、チャイコフスキー国際コンクールなど、著名な国際コンクール入賞者を数多排出し、世界的な音楽家が教鞭をとってきた、ドイツでも有数の音大である。本事業ではピアノコース中尾が同音大を訪問し、マスタークラスを開催、実技試験における学生への助言を行った他、関係施設及び各種試験、演奏会の視察、更には学長、リゲティ・センター所長、ピアノ科長、音楽と健康プロジェクト・チームなど多数の関係者と会談を行った。これらを通して研究教育や学生ケアの状況について関係者と意見交換するとともに、今後の交流について協議を行った。				
事業の詳細 (必要に応じて行を追加・削除すること)	①	プログラム	ルトコフスキ教授クラス コンサート視察	日時	2026.2.9 19:00
		会場	同音大メンデルスゾーン・ザール	集客数	80
	②	プログラム	ピアノ科長ルトコフスキ氏との会談	日時	2026.2.10 15:00

		会場	同音大ピアノ研究室	集客数	-
	③	プログラム	第12部門学部長ベーム氏との会談、学内施設視察	日時	2026.2.10. 16:30
		会場	音大内各施設	集客数	-
	④	プログラム	リゲティ・センター「音楽と健康」プロジェクト・チームとの会談	日時	2026.2.11 12:00
		会場	同音大図書館音楽療法センター	集客数	-
	⑤	プログラム	リコーダーとチェンバロ・クラスの室内楽演奏会視察	日時	2026.2.11 19:00
		会場	同音大メンデルスゾーン・ザール	集客数	80
	⑥	プログラム	ハンブルク美術工芸博物館古楽器コレクション視察、試弾及び、同キュレーターとの会談。	日時	2026.2.12 15:00
		会場	ハンブルク美術工芸博物館	集客数	-
	⑦	プログラム	同音大練習室視察	日時	2026.2.12 17:30
		会場	同音大練習室	集客数	-
	⑧	プログラム	チェロ・クラス演奏会視察	日時	2026.2.12. 19:00
		会場	同音大ファニー・ヘンゼル・ザール	集客数	50
	⑨	プログラム	修士課程中間試験（ピアノ）視察、学生への助言及び、学長・ピアノ教員との意見交換	日時	2026.2.14. 10:30
		会場	ライス・ハレ	集客数	-
	⑩	プログラム	コンツェルトエクサメン課程修了試験視察	日時	2026.2.14 14:15
		会場	ライス・ハレ	集客数	-
	⑪	プログラム	フォルテピアノ（古楽器）による学生演奏会視察	日時	2026.2.15 12:00
		会場	ハンブルク美術工芸博物	集客数	60

			館		
	⑫	プログラム	同音大コロリョフ名誉教授と会談	日時	2026.2.15 16:30
		会場	同名誉教授宅	集客数	-
	⑬	プログラム	ピアノ・レッスン視察	日時	2026.2.16. 10:00
		会場	同音大ピアノ研究室	集客数	-
	⑭	プログラム	同音大シュプリック学長と会談	日時	2026.2.16. 10:30
		会場	同音大学長室	集客数	-
	⑮	プログラム	マスタークラス開催	日時	2026.2.16. 11:00
		会場	同音大ピアノ研究室	集客数	50
	⑯	プログラム	教員・学生と懇談	日時	2026.2.16. 17:00
		会場	ブロックハウス	集客数	-
	⑰	プログラム	試験視察（独奏）	日時	2026.2.17. 10:00
		会場	同音大オーケストラ・スタジオ	集客数	-
	⑱	プログラム	試験視察（協奏曲）	日時	2026.2.17. 12:00
		会場	同音大オーケストラ・スタジオ	集客数	-
	⑲	プログラム	リゲティ・センター視察、所長との会談	日時	2026.2.18. 17:00
		会場	リゲティ・センター	集客数	-
	⑳	プログラム	ピアノ協奏曲他演奏会視察	日時	2026.2.19. 20:00
		会場	エルプ・フィルハーモニー	集客数	1500
	㉑	プログラム	学生室内楽演奏会視察	日時	2026.2.20. 19:30
		会場	ライス・ハレ	集客数	500
	㉒	プログラム	ピアノ・室内楽演奏会視察	日時	2026.2.21. 20:00
		会場	ライス・ハレ	集客数	450

事業成果	<p>同音大ピアノ科には、中尾在学時の評判や国際コンクールでの演奏を知る教員も在籍しており、最初の挨拶から常に暖かく迎えられ、多くのテーマについて率直な意見交換を行うことができた。学長を筆頭に、(とくに欧州外との) 国際交流に積極的な姿勢が示され、学生・教員の相互派遣に関する具体的な提案も複数出された。試験や関連演奏会にも足繁く通う学長の言動からは、個々の専門分野を大切にするガバナンスの姿勢がはっきりと伺え、トップ自らが各部門を回って必要な支援を考えることで、それぞれの専攻に必要なものを機動的に整えていく方式の良さが垣間見えた。同様のことはピアノ科長の役割においても感じられた。また、第12部門学部長が日本を含むアジア伝統音楽の研究者であり、日本からのゲストを学内外関係者に幅広く紹介してくれたことも大きな成果につながった。音楽と健康プロジェクトチームとの会談では、ジストニアなど手や心身の障害について先端の知見を得ることができた。リゲティ・センター視察では、医学、科学などとの分野横断による発展の可能性について、多角的な研究の様子が示された。マスタークラスでは、世界各地からの外国人留学生も十分なドイツ語能力を示し、円滑な指導を展開することができた。とくに確固たる音楽的意志をもつ彼らに、手段としての身体運動の考え方を教授できた意義は大きい。入試の視察という貴重な機会では、個々の教員と学生の共同作業の期待度をはかるような独自の選考方法が印象的であった。芸術を点数で量ることの安直さについて、改めて警鐘を鳴らされるような思いであった。学内試験では、演奏後に各教員から音楽的、哲学的に高次元のフィードバックが飛び交っており、技術的完成度に満足しがちな我が国の審査のあり方とは一線を画していた。各種演奏会では、学生たちによる音楽的意志の明確な演奏が印象に残った他、国際的な演奏家による繊細な表現が、自らの演奏研究にも大いなる刺激をもたらした。昨今の円安と大学予算削減の厳しい情勢の中、貴重な渡航機会をいただけたことに深く感謝申し上げたい。</p>												
今後の交流の展望	<p>ピアノ科長のルトコフスキ教授とはとくに密な交流を図ることができ、本年7月の本学招聘に向けて準備を進めて行くこととなった。マスタークラスなどで交流した学生からは日本や本学についての質問も出され、交流への関心が高まったと言える。同音大学長からは、世界情勢の中での日独共通項への言及、学生短期派遣、室内楽等の提案に加え、自身についても本学訪問への高い関心が示された。その他、ピアノ科長や美術工芸博物館員キュレーターなどから頂いた提案、同博物館における古楽器を用いたマスタークラス等についても、具体化を目指して学内関係者と検討して行きたい。</p>												
新聞・雑誌などメディアへの掲載	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="434 1778 561 1832">日付</th> <th data-bbox="564 1778 788 1832">新聞／雑誌名</th> <th data-bbox="791 1778 919 1832">ページ</th> <th data-bbox="922 1778 1439 1832">表題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="434 1836 561 1930">R8. 2/20</td> <td data-bbox="564 1836 788 1930">Instagram HfMT</td> <td data-bbox="791 1836 919 1930">-</td> <td data-bbox="922 1836 1439 1930">Ein inspirierender Meisterkurs mit dem Klavier-Professor Jun Nakao an der HfMT Hamburg</td> </tr> <tr> <td data-bbox="434 1935 561 1998"></td> <td data-bbox="564 1935 788 1998"></td> <td data-bbox="791 1935 919 1998"></td> <td data-bbox="922 1935 1439 1998">(和訳：) ハンブルク音楽演劇大学における、ピアノ教授中尾純氏によるインス</td> </tr> </tbody> </table>	日付	新聞／雑誌名	ページ	表題	R8. 2/20	Instagram HfMT	-	Ein inspirierender Meisterkurs mit dem Klavier-Professor Jun Nakao an der HfMT Hamburg				(和訳：) ハンブルク音楽演劇大学における、ピアノ教授中尾純氏によるインス
日付	新聞／雑誌名	ページ	表題										
R8. 2/20	Instagram HfMT	-	Ein inspirierender Meisterkurs mit dem Klavier-Professor Jun Nakao an der HfMT Hamburg										
			(和訳：) ハンブルク音楽演劇大学における、ピアノ教授中尾純氏によるインス										

				ピレーションに富んだマスタークラス
外部資金の取得状況	有（			）・無

※ 写真や資料（チラシ・リーフレットなど）があれば添付してください。

↓同音大 Instagram のリンク：

https://www.instagram.com/p/DVAH7SMCP35/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRlODBiNWFlZA==